

平成 30 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっほの会

平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで
認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

事業の成果

本年度も活動の主軸である行政機関に収容されている犬猫の保護・譲渡事業を積極的に行い、北海道内の犬猫の行政での殺処分の減少に寄与しました。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット、イベント等を通じて啓発し、人とペットが幸せに共生していく社会づくりに取り組みました。特に 30 年度は新しい事業やイベントも多く、パネル展示やさまざまな配布物で動物愛護と福祉の啓発普及にも努めました。新しい飼い主を探す事業では、保護した犬猫を適正飼養していただける方へ譲渡し、不幸な動物を減らすことに尽力しました。

またペットと共生するための地域環境の保全事業では、野良猫に不妊手術を施した方々に対して多くの助成金を交付しました。そのうち、譲渡に繋げられる猫については、新たな事業として譲渡会を札幌市内で開催し、リターンせず完全に室内で家庭猫として飼育していただいています。

その他の事業として、飼い主がやむなく飼えなくなったペットを有償で引き取るペットの預かり事業も行い、行き場のないペットの減少に努めました。

事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

1. 保護事業

行政機関から処分される犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では 85 頭の犬猫を譲渡しています。引き取り数、譲渡数ともに、前年度とほぼ同数で、その要因も保健所からの引取り犬猫がさまざまなハンデを抱え、譲渡までに時間やケアが必要な犬猫が多くなったことと、行政での収容数の減少により殺処分予定など緊急性のある犬猫が減ったことが要因です。保護した犬は 57 頭、猫は 39 頭の合計 96 頭で、前年度の犬 56 頭、猫 41 頭の計 97 頭とほぼ同数で、ピーク時からみると保護数はほぼ半減しています。しかし 30 年度は生死にかかわる負傷した猫の引き取りが多く、スタッフのケアにかかる時間、医療費等での負担が増えています。当会では、人に馴れていない犬猫や繁殖用に使われた犬等の他、高齢や病気や怪我等のハンデのある犬猫たちも分け隔てなく平等に引取りしています。当会で長く

暮らす子も変わらず多く、老衰や病気が回復せず亡くなる子もいます。亡くなった子は犬が8頭、猫が4頭でした。死亡数が前年から減少したのは、高齢だったり疾患があっても、看取り覚悟で譲受けを希望してくださるご理解ある飼い主さまが多くいたことも一因です。

平成30年度の実績(平成30年4月1日～平成31年3月31日)と3年間の状況

| 犬 | 引取り数 | 譲渡数 | 引き取り後死亡数 | 譲渡率 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 平成30年度 | 57 | 48 | 8 | 84.2% |
| 平成29年度 | 56 | 49 | 13 | 87.5% |
| 平成28年度 | 68 | 64 | 14 | 94.1% |
| 猫 | 引取り数 | 譲渡数 | 引き取り後死亡数 | 譲渡率 |
| 平成30年度 | 39 | 37 | 4 | 94.8% |
| 平成29年度 | 41 | 33 | 5 | 80.5% |
| 平成28年度 | 72 | 58 | 12 | 80.5% |
| 平成30年度犬猫計 | 96 | 85 | 12 | 92.7% |

■健康管理状況

保護した犬や猫は引き取り直後に動物病院で、感染症検査、混合ワクチン接種、基本的な健康診断もしています。引き取り直後の健康状態を把握することで、病気の早期発見や予防に努めることが出来ます。また、麻酔による弊害など健康に問題がない限り、引き取りした犬猫に避妊・去勢手術を実施、同時にマイクロチップも挿入しています。

また犬には狂犬病予防注射も接種しています。(長沼町への畜犬登録も実施)

これにより、病気の予防はもちろんのこと安易なあるいは望まれない交配を完全に防ぎ、迷子や遺棄の防止に役立っています。

■飼育環境状況

新猫舎での暖かで快適な環境のお蔭で猫風邪の罹患率が低くなっています。預かりボランティアに介護が必要な犬を預かって貰うことで、ハンデのある犬のQOLが上がっています。

複数の担当スタッフがプロの訓練士による指導を月2回程度受け、犬に対する理解と扱い方を学び、接し方等飼育方法の改善に役立てました。

■足長基金事業

足長基金は、高齢だったり傷病等のハンデがあるために、なかなか出会いがなく、健康な個体に比べてケアに人手も費用も多くかかる犬猫を対象にした基金で、30年度は犬18頭、猫32頭が足長基金の対象となりました。死亡や譲渡により減りますが、お蔭さまで長生き

できる子も多く、常時 50 頭前後を看ており、平成 28 年度より毎年 5 頭前後ずつ多くなっています。FIV 陽性の猫が増えている事や、中には毎日点滴や圧迫排せつをしなければならぬ犬猫も数頭おり、スタッフの介護に要する時間も長くなっています。

しかし足長基金により従来は諦めざるを得なかった、重症の犬猫も救えるようになりました。

2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

動物の保護や愛護、福祉をイベントやインターネット及び自会の会報誌等、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、子どもや保護者等多くの方々に生命尊重を伝えました。

30 年度は、セミナーの講師として学校や自治体で動物愛護と福祉の普及に努めました。また殺処分はもとより、不幸な犬猫を減らしていくことを使命とし、広く啓発活動を行い理解と協力を求めました。

今後も「人と動物が幸せに共生する社会」の実現に建設的な意見要望を行ってまいります。また、啓発事業の一環として、啓発文の入ったオリジナルカレンダーを中心にコラボイベントでのコラボグッズやペット用品の販売を行いました。

3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の重要性を、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えました。野良猫と共生できる方法を伝え、野良猫の保護活動を支援しました。

「飼い主のいない猫基金」では、該当する個人や活動グループに対し、野良猫の避妊・去勢手術代の一部を援助、野良猫に対する理解や周知に努めました。平成 30 年度は 50 頭のオス猫と 109 頭のメス猫、延べ 159 頭の野良猫に不妊手術の助成金を交付し、大きな成果を出すことが出来ました。

飼い主のいない猫基金の新たな活動としては、飼い主のいない猫基金で不妊手術を行った猫を、元の場所へリターンせずに保護した猫について、1 月と 3 月に札幌市内の商業施設をお借りして、保護猫の譲渡会を開催し 24 頭の対象猫のうち 12 頭を譲渡する事が出来ました。

4. 犬猫の避妊去勢の普及推進事業

当会で麻酔等の健康上の問題がない限りは、保護した犬猫に不妊措置を行ってから譲渡しています。しかし「旭川市動物愛護センターあにまある」や札幌市動物管理センター（オス猫の去勢手術と一部のメス猫に避妊手術を実施）以外の自治体では、不妊手術の措置は行

われずに新しい飼い主への指導での譲渡を行っています。

社会から、行き場を失う不幸な犬猫を減らしていくには、不妊手術を施してから譲渡することが重要と考えます。今後もさまざまな関係団体への働きかけや提案等を行ってまいります。

5. 動物福祉・愛護・トレーニングに係わる講習会開催事業

4月から10月まで、月に2回ドックトレーナーを招き、犬のしつけ教室を11回開催、延べ46頭の犬と飼い主がプロの指導のもと問題解決方法や積極的な飼育を学びました。教室の内容をブログ等で紹介し、しつけトレーニングの重要性や、しつけトレーニングを行うことで、飼い主との関係強化のみならず、犬の精神状態が安定するなどの犬の福祉の向上につながることを伝えられるよう努めています。

<その他の事業>

当会の保護活動は行政機関からの犬や猫の引取りが基軸ですが、近年、少子高齢化、人口減少が問題となり核族化が進み、飼い主の事情でペットを終生飼養できない等の相談も多く、飼い主が飼えなくなったペットを有償で引き取りして、新しい飼い主を探す事業とペットホテル事業も行いました。社会的な背景により益々需要が多くなる状況で、行政収容されている犬や猫の命を優先し事業を行い、保護動物や保護啓発、活動資金としています。

【平成30年度 毎月の活動報告】

4月

- ・「ハッピーアニマルプラン2018 本当の飼い主になるために」地下歩行空間で開催
- ・しっぽの会しつけ教室開催(10月まで月2回ほど不定期開催・完全予約制)
- ・4/25 発売 財界さっぽろ北海道の犬専門情報誌「わんハート」にしっぽの会
- ・イオン岩見沢店で2017年度黄色いレシート贈呈式

5月

- ・NHKBSプレミアム「家族になろうよ」に出演
- ・長沼町ゆうやけ市に参加(5月～9月までの第4土曜日)
- ・8週齢規制、各種数値規制、繁殖業の免許制を求める緊急院内集会に賛同

6月

- ・ハチマルカーミーティング2018に参加
- ・イオン岩見沢店で動物愛護啓発パネル展示
- ・「殺処分ゼロの定義」に環境省へ意見
- ・戸川長沼町長訪問
- ・(株)開発公営社再構築25周年記念祝賀会に出席
- ・第8回NPO総会
- ・小学館「女性セブン」ふるさと納税記事にしっぽの会掲載

7月

- ・石狩市浜益中学校の道徳授業で講演
- ・第2回ボランティア・スタッフ交流会開催
- ・認定NPO有効期間更新
- ・NPO通信発行

8月

- ・ゆにガーデン「ベストわんライフフェスティバル」に参加
- ・札幌三越屋上特設会場ねこづくしフェスティバル保護ねこ会に参加

- ・(株)ジェイコム札幌 第1回わんこフェスティバルに参加
- ・第2回卒業わんにゃん同窓会開催
- ・札幌市動物愛護センター新設市民応援団を設立

9月

- ・人とペットの暮らし広場 2018 胆振地震により中止
- ・2018 動物愛護フェスティバル in えべつに参加
- ・吉田学園動物看護専門学校で講義

10月

- ・ハッピーアニマルプラン 2018 本当の飼い主になるために part2 チカホで開催
- ・札幌市共催しっぽの会公開講座【人とペットの防災について考える～救える命を救うために～】
開催
- ・震災で被災した動物たちの譲渡会に参加
- ・2019 しっぽの会オリジナルチャリティカレンダー発売
- ・2018 動物愛護フェスティバル in くしろに展示参加

11月

- ・空知振興局保護犬猫の譲渡会パネル展に参加
- ・2018 保護犬猫フェスタ in 北海道 make smile project に参加
- ・第1回しっぽの会ボランティア説明会開催

12月

- ・私たちにできること 2018winter 地下歩行空間で開催
- ・災害時ペット広域支援・受援体制整備に係るモデル図上訓練に参加

1月

- ・第2回ボランティア説明会開催
- ・スポカル 2019in ウィングベイ小樽に参加
- ・第1回「飼い主のいない猫基金」猫譲渡会開催
- ・領収書発行・発送作業

2月

- ・第8回 えにわ犬ぞり大会とえにわマルシェに参加

3月

- ・第2回「飼い主のいない猫基金」猫譲渡会開催
- ・道新こども新聞 週間まなぶんに HOKKAIDO しっぽの会記事掲載
- ・「悪質な繁殖業者やペットショップをもう野放しにしないで！ 8週齢規制・各種数値規制・繁殖業の許可制を求める緊急院内集会」に賛同

- ・正会員更新数 190 名、サポート会員数 202 名、ジュニア会員数 2 名
- ・年度末足長会員数 353 名
- ・会報は 1 月、4 月、7 月、10 月の年 4 回発行
- ・足長通信は毎月末発行
- ・NPO 通信新年度時に発行